

社会福祉法人 晴山会

障害福祉サービス事業所 (多機能型)

すみだ晴山苑

生活介護事業 クルン/放課後等デイサービス事業 キララ

《餅つき会》



《緑と花のまちづくり活動》





《キララ》



発行／社会福祉法人晴山会
障害福祉サービス事業所
すみだ晴山苑
(所在地)
墨田区八広 5-18-30
☎03-6657-3417
2022年3月14日



《マリノアの
クリスマス
コンサート》



《祝・成人》



二〇一九年から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの日常生活の意識を変えざるを得ない状況となりました。皆で盆踊りを練習しながら楽しみにしていた東京オリンピック・パラリンピック NO2020 が延期や規模縮小を余儀なくされ、当苑でも秋祭りや遠足などの人々が集まる企画を中止せざるを得なくなりました。そんな中でも明るく過ごせるよう、ソーシャルディスタンスを保ちながらも楽しめるようなアクティビティを工夫し、コロナ禍の厳しい環境を乗り越えるために、感染予防対策を講じながら二〇二二年を迎えました。リハビリ部門では、利用者様との物理的な接触を最小限にとどめながらも、効果を最大限に引き出すことができる方法を模索する機会となりました。

クルンとキララのリハビリで積極的に取り組んでいるもの一つに「二次障害予防」があります。二次障害の言葉の定義として明確なものはないようですが、最初に診断された時には現れていない症状が、時間の経過と共に出現したものとされています。例えば、脳性まひと診断された時の症状や合併症のことを一次障害と呼ぶとすると、後々成長に伴って二次的に症状として現れる、腰痛、肩や肘の痛み、股関節の痛み、関節の変形、脱臼、側彎、呼吸機能障害などが二次障害として挙げられます。

二次障害の症状は、障害の有無に関係なくなたにでも出現し得る症状です。長時間デスクワークをする方が腰痛や首の痛みを訴えたり、重い荷物を持ち運ぶする労働によって股関節や膝の痛みや悩まされるなどのように、生活スタイルの影響を受ける傾向があり、無理な動作や不良姿勢を続けることで、脊椎や四肢の関節に変形が起こると同じ現象です。学校を卒業し成人された方々においては、今後の身体の変化を先読みして予防に努める必要があります。学童期の方々においては成長する過程で獲得してゆく能力が、二次障害によって阻害されないよう配慮する必要があります。

もとの疾患によって筋緊張が強い方や、手足の動きが大きく筋活動量が多い方、車椅子上で長時間過ごすことが多い場合には、関節や筋腱の組織に負担がかかりやすく、腰や首の痛みや膝や肘の拘縮（関節が硬くなる）の原因となります。クルンとキララでは長時間に渡って同一姿勢が続くことが無いよう、こまめに体の向きを変え、こまめに四肢のストレッチングを施します。また、ポジショニングで胸郭（肋骨部分）の動きを保ち、呼吸機能へのアプローチも行っています。

リハビリ部門では、この取り組みを生活支援員・看護師と共有し、生活介護に反映させることができるよう、定期的に内部研修を開催しています。幅広い内容の医療に関連した情報を全職員が共有することで、呼吸機能維持やリスク管理の徹底、褥瘡予防、骨折予防など、リハビリのアイデアを活かした支援を提供する事が出来ます。苑内での多職種連携と同様に、苑外の他支援機関との情報共有も安全安心なサービス提供にとって不可欠と考えております。今後も利用者の皆様、個々の身体機能を引き出しながら楽しくアクティビティに参加できるように、また、クルンとキララに来たら体が軽くなった、痛いところが治ってきたと思っただけのような、笑顔を引き出すリハビリサービスを、ご提供できるよう尽力いたします。

理学療法士 伊藤博子